

# 北部機械金属業界の景況動向

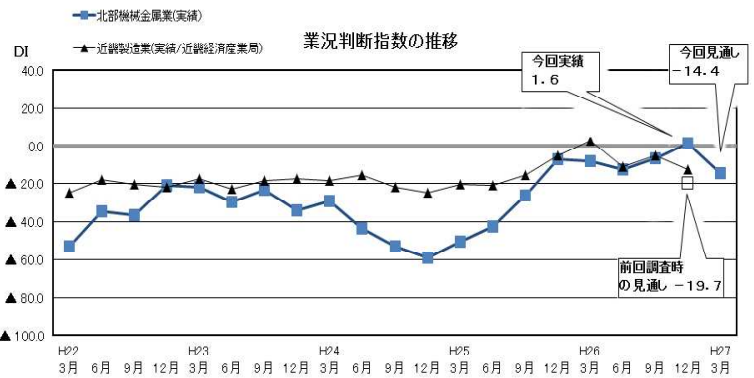
(2014年10～12月実績／2015年1～3月見通し)

- 調査対象：綾部市以北5市2町の機械金属関係企業187社 【調査時点 平成26年12月下旬】
- 回答数：125社（回答率66.8%、内訳は以下のとおり。）
  - ①市町別 = 福知山市:26、舞鶴市:21、綾部市:18、宮津市・与謝郡:10、京丹後市:50
  - ②取扱別 = 一般機械:51、電気機械:15、輸送機械:27、精密機械:13、その他:19
    - (区分) 一般機械…工作機械、産業機械部品等 電気機械…家電部品、電子部品等
    - 輸送機械…自動車部品、船舶等 精密機械…半導体・液晶関連、精密機械部品等
  - ③従業員数別 = 1～9人:37、10～19人:28、20～49人:34、50～99人:13、100人以上:13
- ※アンケート調査の他に一部企業の訪問調査を実施 【調査機関：公益財団法人京都産業21北部支援センター】

## － 調査結果 －

### 1 景況動向判断

●10～12月実績のDI(業況判断指数)は1.6となり、7～9月期(以下「前回」)より8.3ポイント改善した(前回-6.7)。福知山市域は19.2(前回-7.1)、舞鶴市域は-9.5(前回0.0)、綾部市域は-16.7(前回-27.3)、宮津市・与謝郡域は-20.0(前回-20.0)、京丹後市域は8.0(前回2.1)であった。舞鶴市域と宮津・与謝郡域以外の地域ではDIが改善した。前回の見通しでは-19.7と悪化すると予想したが、堅調に推移している。



注：DI = (非常に良い+良い) - (非常に悪い+悪い)

●1～3月見通しのDIは-14.4と、前回より5.3ポイント改善した。(前回-19.7)。地域別に見ると、福知山市域は0.0(前回-14.4)、舞鶴市域は-19.0(前回-38.0)、綾部市域は-44.4(前回-27.3)、宮津市・与謝郡域は-40.0(前回-10.0)、京丹後市域は-4.0(前回-13.6)であった。このように綾部市域と宮津・与謝郡域で前回と比べて悪い見通しとなっている。

景況動向判断 10～12月実績

地域	非常に良い	良い	普通	悪い	非常に悪い	DI
全体	24.8	50.4	21.6	2.4	0.8	0.8
福知山市	26.9	65.4	7.7			7.7
舞鶴市	14.3	61.9	19.0	4.8		4.8
綾部市	22.2	38.9	27.8	11.1		11.1
宮津・与謝	20.0	40.0	40.0			40.0
京丹後市	30.0	44.0	24.0			24.0

景況動向判断 1～3月見通し

地域	非常に良い	良い	普通	悪い	非常に悪い	DI
全体	13.6	56.8	25.6	3.2	0.8	0.8
福知山市	15.4	69.2	15.4			15.4
舞鶴市	14.3	52.4	28.6	4.7		4.7
綾部市		55.6	33.3	11.1		11.1
宮津・与謝	10.0	40.0	50.0			50.0
京丹後市	18.0	56.0	22.0	2.0		2.0

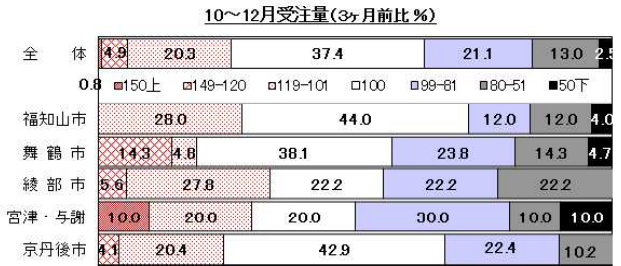
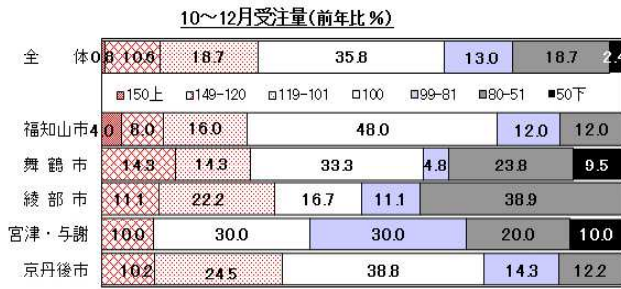
### 2 採算状況

●10～12月の採算状況は、全体では、赤字とする企業が18.4%(前回22.0%)と3.6ポイント好転した。地域別には綾部市域と宮津・与謝郡域は赤字とする企業が黒字とする企業を上回っており、依然として厳しい状況が続いている。

10～12月採算状況

地域	黒字	トントン	赤字
全体	27.2	54.4	18.4
福知山市	34.6	53.9	11.5
舞鶴市	28.6	52.4	19.0
綾部市	22.2	44.5	33.3
宮津・与謝	20.0	40.0	40.0
京丹後市	26.0	62.0	12.0

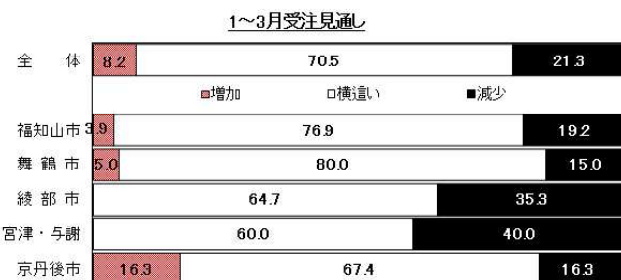
### 3 受注量



- 10～12月の受注量は、対前年同期比100%以上を確保した企業は65.9%（前回64.7%）と1.2ポイント増加した。対3か月前比100%以上を確保した企業は63.4%（前回62.0%）と1.4ポイント増加した。地域別には、宮津市・与謝郡域以外の地域で5割から7割の企業が3か月前比100%以上の受注を確保している。



- 10～12月の受注量（稼働割合）は、100%以上とした企業は45.9%（前回39.4%）と6.5ポイント増加した。一方、全ての地域で5割前後の企業が受注能力100%以上の仕事を確保しておらず、まだ生産余力がある。



- 1～3月の受注見通し（左下図）は、増加を見込む企業の割合は8.2%（前回11.9%）と3.7ポイント減少し、減少を見込む企業の割合は21.3%（前回20.6%）と0.7ポイント増加した。地域別では綾部市域と宮津・与謝郡域で、3割以上の企業が減少を見込んでおり、増加を見込む企業が皆無であった。

### 4 受注条件（受注単価／納期）



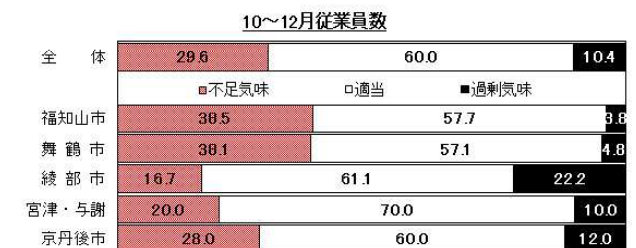
- 受注単価が上がったとする企業は2.4%（前回2.3%）とほぼ横ばいで、受注単価が下がったとする企業は10.6%（前回13.1%）と、2.5ポイント好転した。また、納期が短くなったとする企業は39.5%（前回31.8%）と7.7ポイント増加した。

### 5 資金繰り



- 資金繰りは、悪化とした企業が12.9%（前回14.5%）と前回より1.6ポイント好転した。舞鶴市域、綾部市域、宮津・与謝郡行域では好転とした企業は皆無であった。

### 6 従業員数



- 従業員数は、不足気味が29.6%（前回25.7%）、過剰気味が10.4%（前回12.9%）となった。2013年9月調査時から、不足気味とする企業が過剰気味とする企業を上回る状況が継続しており、人手不足の状況が慢性化している。